## 特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名
10	健康増進事業の実施に関する事務

#### 個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

千代田区は、健康増進事業の実施に関する事務における特定個人情報ファイルの取り扱いに当たり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを認識し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを低減させるために適切な措置を講じ、もって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを宣言する。

特記事項

総合健診システムへの外部者のアクセスを防止するため、ユーザ認証(ユーザID、生体認証)によるアクセス制限を行っている。また、内部者(システム管理等の受託者を含む。)の不正操作を防止するため、操作者ごとの権限管理や操作履歴(アクセスログ)の記録等を行っている。万一の不正操作があった場合も想定し、アクセスログをチェックし、早期発見、被害の拡大防止に迅速に対応できるようにしている。当該システムのサーバーは、入退室管理するサーバー室内においてラックに施錠した上で管理している。

#### 評価実施機関名

千代田区長

#### 公表日

令和7年10月3日

## I 関連情報

1. 特定個人情報ファイ	イルを取り扱う事務
①事務の名称	健康増進事業の実施に関する事務
②事務の概要	健康増進法に定めのある健康診査、検診事業について、個人情報ファイルを基に対象者を抽出し、以下のようにデータ入力、管理等を実施。 ① 骨粗鬆症検診の受診者につき、測定値等のデータを総合健診システム(以下「システム」という)に入力・管理する。 ② 区民歯科健診受診者につき、歯周疾患検診にかかる部分の結果データをシステムに入力・管理する③健康診査事業として、40歳以上の生活保護受給者または中国残留邦人の健診受診者分の結果データをシステムに入力・管理する。 ④ 肝炎ウイルス検査受診者につき、結果データをシステムに入力・管理する。 ⑤ がん検診受診者につき、結果データをシステムに入力・管理する。 「⑤ がん検診受診者につき、結果データをシステムに入力・管理する。 「⑤ がん検診受診者につき、結果データをシステムに入力・管理する。 「⑤ がん検診受診者につき、結果データをシステムに入力・管理する。 「管理する。 「作報連携のため、本市区町村は、Public Medical Hub(PMH)へ本事務に係る対象者の個人番号を含め、では民は、マイナポータル等を介して問診情報の入力、検診結果及び通知の取得/閲覧が可能となる。・住民が、検診時に、従来の紙の問診票に代えて、マイナンバーカードをタブレットに搭載された検診施設アプリ又は医療機関のシステムで用いることにより、医療機関・検診会場(以下、検診施設等)において住民が事前に入力した問診情報、検診結果の取得/閲覧/入力が可能となる。・自治体は、医療機関から入力された問診情報、検診結果の取得及び住民への通知が可能となる。・自治体は、医療機関から入力された問診情報、検診結果の取得及び住民への通知が可能となる。
③システムの名称	総合健診システム(健康かるて)、中間サーバー、Public Medical Hub(PMH)
2. 特定個人情報ファ	イル名
建康増進事業情報ファイル	l
3. 個人番号の利用	
法令上の根拠	番号法第9条第1項 別表111の項
4. 情報提供ネットワー	-クシステムによる情報連携
①実施の有無	<選択肢>
②法令上の根拠	○情報照会 ・番号法第19条第8号に基づく主務省令第2条の表139の項 ○情報提供 ・番号法第19条第8号に基づく主務省令第2条の表139の項
5. 評価実施機関にお	ける担当部署
①部署	保健福祉部健康推進課
②所属長の役職名	健康推進課長

7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求					
請求先	〒102-0073 千代田区九段北1-2-14 千代田保健所 健康推進課 8171	健康推進係 Tel. 5211—			
8. 特定個人情報ファイルの	り取扱いに関する問合せ				
連絡先	〒102-0073 千代田区九段北1-2-14 千代田保健所 健康推進課 8171	健康推進係 Tel. 5211-			
9. 規則第9条第2項の適用	[ ]適用した				
適用した理由					

#### Ⅱ しきい値判断項目

1. 対象人	1. 対象人数					
評価対象の事務の対象人数は何人か		[ 1万人以上10万人未満 ]		<選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上		
	いつ時点の計数か	令和	7年9月1日 時点			
2. 取扱者数						
特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か		[	500人未満	]	<選択肢> 1) 500人以上	2) 500人未満
いつ時点の計数か		令和7年9月1日 時点				
3. 重大事故						
過去1年以内に、評価実施機関において特定個人 情報に関する重大事故が発生したか		[	発生なし	]	<選択肢> 1) 発生あり	2) 発生なし

## Ⅲ しきい値判断結果

# Lきい値判断結果 基礎項目評価の実施が義務付けられる

## Ⅳ リスク対策

1. 提出する特定個人情報	保護評価書の種類			
[ 基礎	項目評価書		<選択肢> 1) 基礎項目評価書 2) 基礎項目評価書及び 3) 基礎項目評価書及び	
2)又は3)を選択した評価実施 されている。	施機関については、それぞれ	<b>・重点項目評価</b> 語	書又は全項目評価書において、リス <sup>.</sup>	ク対策の詳細が記載
2. 特定個人情報の入手(†	青報提供ネットワークシス	テムを通じた。	入手を除く。)	
目的外の入手が行われるリス クへの対策は十分か	[ 十分である	]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
3. 特定個人情報の使用				
目的を超えた紐付け、事務に 必要のない情報との紐付けが 行われるリスクへの対策は十 分か	[ 十分である	]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	[ 十分である	]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
4. 特定個人情報ファイルの	の取扱いの委託		1	]委託しない
委託先における不正な使用 等のリスクへの対策は十分か	[ 十分である	]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
5. 特定個人情報の提供・移転	〒(委託や情報提供ネットワー	ークシステムを選	配じた提供を除く。) [	]提供・移転しない
不正な提供・移転が行われる リスクへの対策は十分か	[ 十分である	]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
6. 情報提供ネットワークシ	ステムとの接続		[ 〇 ]接続しない(入手) [ 〇	]接続しない(提供)
目的外の入手が行われるリス クへの対策は十分か	[	1	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
不正な提供が行われるリスク への対策は十分か	]	]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	

7. 特定個人情報の保管・消去					
特定個人情報の漏えい・滅 失・毀損リスクへの対策は十 分か	[ 十分である	]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている		
8. 人手を介在させる作業 [ ]人手を介在させる作業はない					
人為的ミスが発生するリスク への対策は十分か	[ 十分である	]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている		
判断の根拠	マイナンバー利用事務におけるマイナンバー登録事務に係る横断的なガイドラインに従い、マイナンバー登録や副本登録の際には、本人からのマイナンバー取得の徹底や、住基ネット照会を行う際には4情報又は住所を含む3情報による照会を行うことを厳守している。また、健康増進事業の実施に関する事務では、上記のほか、下記の局面で特定個人情報の取扱いに関して手作業が介在するが、いずれの局面においても複数人での確認を行うようにしており、人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分であると考えられる。・申請書に記載された個人番号及び本人情報のデータベースへの入力・特定個人情報の記載がある申請書等(USBメモリを含む。)の保管・個人番号及び本人情報が記載された申請書の廃棄				

9. 監査				
実施の有無	[ ] 自己点検	[ ] 内部監査	[〇] 外部監査	
10. 従業者に対する教育・	啓発			
従業者に対する教育・啓発	[ 十分に行っている	]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない	
11. 最も優先度が高いと考	えられる対策	[ ]全	項目評価又は重点項目評価を実施す	する
最も優先度が高いと考えられ る対策	3) 権限のない者によって 4) 委託先における不正が 5) 不正な提供・移転が行 6) 情報提供ネットワーク 7) 情報提供ネットワーク	つれるリスクへの対策 、事務に必要のない情報 て不正に使用されるリスク な使用等のリスクへの対 行われるリスクへの対策 ウシステムを通じて目的外 ウシステムを通じて不正な	策 委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を の入手が行われるリスクへの対策 提供が行われるリスクへの対策	]
当該対策は十分か【再掲】	[ 十分である	]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
判断の根拠	の取り扱い権限のある職員向 行っている。また、庁内で漏え	向け、マイナンバー制度及 えい等のヒヤリハット事案	ティに関する研修と個人番号利用事務系 び情報連携に関する研修を実施し、受請 が発生した際等には、再発防止策等の居 こ対する教育・啓発は「十分に行っている	確認を 知を実施

支更質	所 項目 ELきい値判断項目 取扱者	変更的の記録	東東鉄の記憶	組織時期	最出時期に使る説明
₩62784,R138	ILさい値判断項目 取扱者 数	500人以上	500人未高	事務	入力勝りの訂正
∓stzetss∄÷iii	I 関連情報 3. 個人書号の利用 法令上の模拠	行改手続における特定の個人を機関するため の書号の利用等に関する法律第9条第1項 別 表第一の76項	行政手続における特定の個人を機則するため の書号の利用等に関する法律第9条第1項 別 表示の160項 行政手続における特定の個人を機割するため の書号の利用等に関する法律別表第一の主括 省令で定める事務を定める命令第54条		
∓ekzetts∄:ü Zeksetts∄:ü	I 関連情報 5. 評価実施機関における担 ILさい値判断項目	健康推進課長 商山裕之 平成27年3月1日時点	健康推進隊長 波部ゆう 平成20年5月1日時点	事後	
平成20年3月1日	1. 対象人数 2. 取扱音数 I 防連情報 I 防連情報 I 特定個人情報ファイルを取り 扱う事務企業券の概要	平型が与えて日報を 研究を担いていたもの最近を、検討主義 について、多点様のフィルを私に対象を検 のし、以下のたが、アールが、日間を受し、 のでは、日本のなが、アールが、日間を受し、 のでは、日本のなが、アールが、日間を受し、 では、日本のなが、アールが、日本のは、 では、日本のなが、アールが、日本のは、 のでは、日本のなが、アールが、アールが、アールが、アールが、アールが、アールが、アールが、アール	平型が年月1日日産 機能関連出土に支かの各・団産財子、検护手業 について、現人機関アンイルを基に対象を持 は、以下のカンドーンル、管理等を提出 アーナルを開発がある。 アーナルを開発が大力には下ジステムによ フェステムには下ジステムによ フェステムには下ジステムによ フェステムには 日本の大力によ 日本の大力に 日本の大力 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の		
全和1年6月1日	I 関連情報 1.特定個人情報ファイルを取り扱う事務 ③システムの名称	飲金健診システム(健康かるで)、中間サー バー、統合宛名管理システム	飲金健診システム(健康かるて)	事後	
全和1年6月1日	I 関連情報 5. 評価実施機関における担 当部署 (2所属長の役職名	健康推進課長 波部ゆう	健康推進隊長	事後	
全程(常6月1日	I 関連情報 7.特定個人情報の開示・訂 正・利用停止請求	查主則去·書文製務均隨營發業成茲田升干	千代田区政策经営副総務課法規担当	事後	
今和1年6月1日	正・利用停止請求 I しきい信刊販項目 1. 対象人数 2. 取扱者数 時点	平成29年5月1日時点	平成31年4月1日時点	*6	
*8483月11日	表紙 個人のブライバシー等の権利 利益の保護の宣言	子代田区は、健康管温事業の実施に関する事 部における特定拠人情報ファイルの取り扱い。 あたり、特定度、情報ファイルの取り扱い。 のプライバシー等の機則相信に影響を設定し、 かれないことを認識、特を関係、特殊の譲入し、 ために選挙と議覧、も同じ、 ために選挙と議覧と議じ、もって個人のフライ ために当等と観り、 とのである。 とので。 とのである。 とのである。 とのである。 とのである。 とのである。 とのである。 とのである。 とのでので。 とのである。 とのである。 とのである。 とのである。 とのである。 とのである。 とのである。 とのである。 とのでので。 とのでので。 とのでので。 とのでので。 とのでので。 とのでので。 とのでので。 とのでので。 とのでので。 とので。 と	平代回区は、機能推進事業の実施に関する事 際における特定県人情報アイルの取り扱い。 あたり、特定原、情報アイルの取り扱い。 のプライバシー等の機関対域に影響を設定し かなないことを認識し、特を図れ、情報を選えば たかに国際ない間を実施し、もって個人のプライ たかに国際ない間を実施し、もって個人のプライ パー等のを表現すり回の復興に取り組んでいる ことを宣言する。	事前	入力誤りの訂正
*Retts#119	表紙 公表日 T際連携報	(空欄)	2022/3/11	事前	
*Bets#iii	数数 公委日 I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを取 分数多事務 I 関連情報 2. 特字個人情報ファイル名	総合健診システム(健康かるて) 骨密度測定会関係ファイル、区民歯科健診受 診身ファイル、同診・記録限ファイル、肝炎ウイ ルス検査ファイル	飲合健診システム(健康かるで)、中間サーバー パー 健康増進事業情報ファイル	*# *#	
9194E39(1)A					
电和电流用11前	I 関連情報 4. 情報提供ネットワークシス テムによる情報連携 ①実施の有無	実施しない	実施する	*#	
*BetsAna	I 関連情報 4. 情報提供ネットワークシス テムによる情報連携 ②法令上の模奏	(空報)	○情報開発 - 番号法第19条第8号及び別表第2の102の2の - 番号法別表第二の主務金で定める事務及 び情報を変める命令 第50条 - 番号法第19条第二の主務金で定める事務及 - 番号法第19条第二の主務金で定める事務及 が情報を変める命令第50条	*81	
*RetaRis	ILさい値判断項目 1. 対象人数 ILさい値判断項目	平成31年4月1日時点	令和4年3月1日時点	*6	
*8+82月11日	目しきい値判断項目 2. 取扱者数 特定個人情報ファイル取扱者 数は2500人以上か	平成31年4月1日時点	令和4年3月1日時点	*8	
ФВСТОО РЭЙ	はなめた日本で 1 記述情報 1 時なな人名報ファイルを知 2 年命の祖男	報告を担当していたのから記事がある。 では、「我们を対する」を記事がある。 「中部は自然ののなまった」が、「おいまった」 「中部は自然ののなまった」が、「おいまった」 「中部は自然ののなまった」が、「おいまった」 「中部は自然ののなまった」が、「おいまった」 「おいまった」が、「おいまった」 「おいまった」が、「おいまった」 「おいまった」が、「おいまった」 「おいまった」が、「おいまった」 「おいまった」が、「おいまった」 「おいまった」が、「おいまった」 「おいまった」が、「おいまった」 「おいまった」が、「おいまった」 「おいまった」が、「おいまった」 「おいまった」が、「おいまった」 「おいまった」が、「おいまった」 「おいまった」が、「おいまった」 「おいまった」が、「おいまった」 「おいまった」が、「おいまった」 「おいまった」が、「おいまった」 「おいまった」が、「おいまった」 「ちった」 「ちった」 「ちった」 「ちった」 「ちった」 「ちった」 「ちった」 「ちった」 「ちった」 「ちった」 「ちった」 「ちった	の表現をは、これのから機関がある。 のは、これでのなって、人力、関係を含む。 のは、これでのなって、人力、関係を含む。 のは、これでのなって、人力、関係を含む。 のは、これでのなって、人力、関係を含む。 のは、これでは、一分、のは、のは、のないのは、	事前	
<b>会和1010月2日</b>	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを取 り扱う事務 ③システムの名称	総合保診システム(健康かるて)、中間サー バー	飲金健診システム(健康かるて)、中間サー パー、Public Medical Hub (PMH)	*81	
*Retendad	③システムの名称 I 間連情報 3. 個人書号の利用 法令上の模拠	行政予禁における特定の個人を推測するため の書号の利用等に関する法律第9条第1項 別 表第一の76項 行政予禁における特定の個人を推測するため の書号の利用等に関する法律別表第一の主務 省やで定める事務を定める命令第34条	書号法第9条第1項 別表111の項	事前	
传统地位用证据	I 関連情報 4. 情報受体ネットワークシス テムによる情報連携 空法令上の模奏	○情報開発 ・場等法案前9条第6号及び別表第2の1位の2の ・場等法案第二の主務省をで定める事務及 び情報経定のも命を第50条 ○情報経度 ・場等法第19条第6号及び別表第2の1位の2の ・場等法第19条第40号ををで定める事務及 び情報を必める命を第50条	○情報開発 ・書号法第16条第8号に基づく主務省を第2条 の表1990項 ・書号法第16条第8号に基づく主務省を第2条 の表1990項	*6	
*************	1 関連情報 7. 特定個人情報の開示・訂 正・利用停止請求	〒102-8888 平代田区九段南1-2-1 平 代田区政策経営部総務課法規担当 Tel. 5211 -4138	〒102-0073 千代田区九段北1-2-14 千 代田保健所 健康推進隊 健康推進係 Tel. 5211-8171	*8	
	正・利用停止請求 ILきい値判断項目 1. 対象人数 評価対象の事務の対象人数 は何人か いつ時点の計数か	4138 令和7年3月1日時点	5211-8171 令和7年9月1日時点	*8	
*81810F3H	は何人かいつ時点の計数か				
entre Asi	は何人か いつ時点の計数か IIしきい値利断項目 2.取扱者数 特定個人情報ファイル取扱者 数は500人以上か いつ時点の計数か	令和7年3月1日時点	令和7年9月1日時点	*#	
† 1617 161 161 161 161 161 161 161 161 16	日しきい値判断項目 2. 取扱者数 特定個人情報ファイル取扱者 数は500人以上か	全和7年3月1日時点	<b>令初7年9月1日時点</b>	*81	